

## 第2回精華町町民健康づくり推進協議会 会議録

1. 開会の日時 令和2年2月19日 午後1時30分
2. 開会の場所 役場庁舎6階審議会室
3. 出席した委員 内田裕也委員 岡田敦子委員 岸田秀樹委員 清水春恵委員  
田尻儀久委員 中村知世委員 野澤知子委員 長谷川悟委員  
東あかね委員 廣瀬亮二委員 松浦寛二委員 三沢あき子委員(代理)  
村上栄委員 森島秀行委員 矢田佳奈美委員 横山智彦委員
4. 欠席した委員 田中智美委員
5. 傍聴者 2名(オブザーバー参加)

### 6. 会議次第

開会

委員の紹介

議事 (1)健康増進計画に基づく令和2年度事業計画(案)について

(2)精華町健康総合拠点施設のあり方検討会議の進捗状況について

(3)意見交換

次回会議日程

閉会

### 7. 内容

開会

(森田課長) それでは定刻になりましたので、令和元年度 第2回精華町 町民健康づくり推進協議会を始めさせていただきます。

まず、はじめに健康福祉環境部長より、ご挨拶をさせていただきます。

挨拶

(岩前部長) 新型コロナウイルスの国内感染の拡大について、報道がされています。本町でも1月末に対策本部を設置し、関係課及び関係機関と情報共有をしたところ です。町民の皆様には、リアルタイムな情報発信と、感染予防の観点から周知啓発活動に努めています。

本日の内容は、健康増進計画に関係するところです。重点事業の中で、健康寿命の延伸を目指し、一昨年度から健康ポイント事業の取り組みを開始し

実施しています。登録者も現在 2,000 人を超え、今後 3,000 人の登録を目指します。また、今年度心の健康づくりという観点から自殺予防対策計画の策定作業を進めています。自殺予防対策も強化したいと考えています。併せて、健康総合拠点施設整備としてこちらも計画策定に取り組んでいます。現在第2期の健康増進計画の取り組みを進めています但未達成の項目もあり、今後、様々な方策を講じながら取り組みを進めていきたいと考えています。この、健康づくり協議会の場で皆様からご意見をいただく中で取り組みを進めたいと考えています。

#### 会議の公開

(森田課長) 前回欠席の委員のご紹介をさせていただきます。

社会教育委員会の村上様です。精華町自治会連合会の幹事の横山様です。

本会議は、原則公開であり、会議録要旨を作成します。会議要旨は、町ホームページで公表します。

資料確認 本日の資料の確認を事務局よりさせていただきます。

(事務局) 資料の確認を行う

#### 進行交代

(森田課長) 本協議会規則に基づき、このあとの議事進行については、東(ひがし)会長に議長をお願いします。

#### 議事

(東会長) このような新型コロナウイルスが流行するとは思ってもかけないことです。手洗い等で防御をしていくしかない。どこにウイルスがいてもおかしくない状況。手洗いやなるべく顔を触らないなど、それぞれが地道な対策をしていただきたいです。

本日は私の勤務する大学より2人傍聴に来ています。

それでは、議事の かつこ1の健康増進計画に基づく令和2年度事業計画(案)について、を事務局より説明していただきます。

#### 説明

(事務局) 健康増進計画に基づく令和2年度事業計画(案)について事務局より説明

#### 議事

(東会長) ただ今事務局より、健康増進計画に基づく令和2年度事業計画(案)について説明がありました。まず、基本目標1から、質問やご意見をお願いします。

(岡田委員) 質問です。まず基本目標1の「正しくおいしく食べましょう」のところ。課題1の取り組み④で「あすなる会」の養成講座の定期開催を目指すとして、令和元年

度達成で、「せいか食育劇団もぐもぐ」のメンバーの増員を図るについても達成でした。まず食生活改善推進員の養成は、毎年ではないと思う。養成講座実施の計画は何年ごとに実施するのか、会員が減ってきたら養成するのか。

もぐもぐのことでは、私の家の近所の方も、構成員の若返りが図れないと話している。評価は達成となっているが、資料を見たら平成28年20人、29年度20人、30年度19人で令和元年度はどうなったのかと思った。次に基本目標3のみんなでニコニコ健康生活のところで、令和元年度に取り組んだことの課題2の取り組み①で東畑老人会で健康教育を実施し、団体への受診勧奨実施とある。あえて東畑老人会が指定されているのがなぜか。精華町では41、2の行政区があり、それぞれに老人会はあると思う。あえて東畑地区に行ったという理由があるのか。またその受診勧奨の効果についてはどうか。それに関連して令和2年度に取り組むこととして、地域で活動する住民グループと連携した健診受診勧奨の実施とあるがこれが先ほどの東畑の老人会への受診勧奨になるのか。資料の中で「若い世代」という言葉が多用

されているが、健康増進計画の中では、どれくらいの年代を想定されているのか。私自身民生委員をしていて北ノ堂地域だが、団地ができて50年で、高齢化率が40%を超えている。一人暮らしの孤独死があったりしたため、9年前に高齢者の見守り隊というのができ、隣組ごとに見守り隊がある。隊員の世代交代も考えるが難しい。若い世代とはどのような世代に焦点を当てているのか。

(事務局) 基本目標1の正しくおいしく食べましようの、あすなる会の養成講座の定期開催を目指すというところですよ。従来はおおむね5年に1回養成講座を実施していた。昨年の平成30年度に養成講座を実施し、17名の方に受講終了いただき、メンバーに加わっていただいた。今後については、2年に1回実施したいと考え、令和2年度に養成講座の実施を考えている。今後2年に1回の実施を考えている。

(岡田委員) 今現在何人会員がいるのか。

(事務局) 48名。昨年度の17名の方が加わっていただき48名となった。

(野澤委員) 今年度あすなる会の会長をしています。年度が4月から新しくなるが、役員を決めることが難しくなっている。あすなるは2年任期で役員を交代していたが、任期が長いため、受け手が少ない。まだ1期生も活躍している。現状は働いていたり、子どもが小さい会員がいたりで、活躍が難しい。ある程度の人数を確保しないと事業実施ができないこともあり、2年に1回の養成講座を行政で企画していただいています。

(事務局) 食育劇団もぐもぐのメンバー増員については、28年度29年度はメンバー20名ずつ、30年度は19名、令和元年度は16名。元々もぐもぐのメンバーに精華町の役場の職員が4名いました。令和元年度から、住民の方主体で、との思いから、職員を省いた住民の方々だけで会の運営の方していただいている。職員は4名減ですが実質的には1名増えているという状況。行政は側面的な支援

で、道具を運んだりしている。1名増えているので、達成状況としては○です。

(事務局) 3つ目の質問の生活習慣病・循環器疾患・がんのところで、東畑だけ健康教育という表記があるということについて、。老人クラブは27ありますが、東畑地区からは毎年健康教育の要望をいただいている、今回健診勧奨のお話をさせていただいた。この健診勧奨には意図がありまして、来年国が75歳以上の健診で、「フレイル」と言って介護になる少し手前の人を早めに発見して元気な方に戻すという取り組みを早くやるよう指示が下りています。健診としては問診、質問票を取るというようなもの。それが始まるため強化の意味で健康教育もかねて、受診勧奨した次第です。特に地区別で、後期と国保の健診の受診率も比較して老人クラブ連合会の方には見ていただきました。実際のところ東畑では病院にかかっておられる方が多かったです、約3割の方しか後期基本健診を受けておられないという実態がありました。病院にかからず、健診も受けてない方はぜひ健康管理を、と話しました。10月から実施したので、効果の検証はできていない状況です。健診勧奨の啓発については、今後も強化する必要があります。身近で声をかけあったり、地域のコミュニティの中で誘い合っていたら一番の勧奨になるかなと思います。想定としては、健康づくりの体操の居場所づくり、高齢者のふれあいサロンなど様々な地域団体に要望も聞きながら勧奨強化していけたらと思っています。

「若い世代」ですが、扱う内容によって違いがある。がん検診であれば20代、30代の方。特定健診国保の方なら働き世代の40代、50代の男性など、受診率の低い世代にターゲットを絞って啓発できるよう考えています。

(東会長) 自殺予防対策について。精華町での自殺者数、どの年代が多いかといった現状はどうか。

(岩前部長) 現在、自殺予防対策計画の策定作業を進めています。今年度無作為抽出で、約1000名の方にアンケート調査を幅広い世代にした。本町の自殺者数は、多い年で8人、少ない年で1人でここ5年は推移しています。精華町のような小さい町で自殺者数が8人という年についてはやはり多い。

年代別では男性は30・40代が、女性は20歳未満の若年層が多いという傾向。町のホームページで「心の体温計」といって質問に答えることで自分の状況を把握し、結果を目安に相談につなげる取り組みをしており、そうしたツールも活用しながら予防対策など、具体的な取り組みを次年度以降進めたい。

(村上委員) 基本目標2の(1)課題1の取り組み②について、(評価)が×になっているが、の具体的な理由は。小、中学校では体力向上の取り組みをしっかりとされている。×の意味は何か。

(事務局) 様々な団体が取り組みをされていることは、私達も把握しているところ。その関連する団体が頭を突き合わせて今の子供にとっての課題を協議する場についてははないということ。

(東会長) 令和2年度で取り組むことで、1番の○に話し合いの場の設定として挙げていると

いうことですね。

(事務局) はい。

(松浦委員) 楽しく体を動かそうという中で、前回のところで質問をさせていただいたが、取り組みで健康ポイントとセイカ歩数計アプリの連携で運動云々というのがある。健康ポイントについて、その後の進捗についてお聞きしたい。もう一点は一番最後の基本目標4の生きがい・ふれあい・社会参加のところで課題2の取り組み③の社会活動に積極的な60歳前後にターゲットを絞って周知を行う。この60歳という年齢については、何か判断基準があるのか。

(事務局) 健康ポイント事業について、12月末現在で約2000人の登録者数がある。各協賛店47店舗で自分に特典をとということで楽しんで健康ポイントをご利用いただいている。また、広報でも参加された方の声を掲載予定ですので、ご覧ください。60歳の基準は定年退職の年齢を想定して60歳前後としてる。

(松浦委員) ポイント事業で各体操の居場所の人たちが、ポイント付与したいと。28か所ある体操の居場所において、どうするかというのを今、考えていただいていると思う。それについて答えていただきたい。

(事務局) 体操の居場所において、参加状況の把握について、名簿作成している団体もあれば、そうでない場合もあります。ポイントの付与もぜひしたいところだが、それぞれの出席状況の把握や、参加者と参加されない方々とを比べた時にどのように健康に差異が出てくるかといった部分を確認するため、来年度タブレットでの出席管理を高齡福祉課が主体で実施する予定となっています。健康ポイントカード裏面にあるQRコードをタブレット端末で読み取り、出席チェックをする仕組みと聞いています。出席管理が正確に可能になれば、出席者へのポイントの付与を、今後検討したいと聞いています。

(東会長) 次の「精華町健康総合拠点施設のあり方検討会議の進捗状況について」を事務局より説明いただきます。

(事務局) 精華町健康総合拠点施設のあり方検討会議の進捗状況について事務局より説明

(東会長) 着工や完成いつの予定か。

(事務局) 資料の25ページ。4番計画の推進に向けてというところ。昨年度に基本構想を策定し、令和元年度では基本計画の策定を実施しています。令和3年度以降に実施設計、建築等と示しています。かつこ1の建設手順と建設計画のところ、スケジュールは、財源確保の目途の見通しが立った段階で進めていきますとあり、早くても令和3年度以降というところ。

(東会長) 6億円が必要で、まだいつできるかわからないということ。外観イメージ図があるが、場所についてもまだこれから検討か。

(事務局) 基本計画の中で建設の候補地はある程度絞り込んでいます。計画案の3ページ4ページ5ページのところ。まず5ページで、建設評価の適性評価で、4つの候補地を選定をしています。公共交通機関の利便性、行政施設等との近接性、商業施設等

との近接性、開発の容易性、取得の容易性などで評価しております。また災害時の拠点となるため、災害想定区域の指定も考慮して、役場の敷地及び周辺地を有力候補地として考えている状況です。4ページでは候補地の抽出の考え方を図で示し、精華町役場の敷地、もしくは周辺地が好適であると判断をしています。

(岸田委員) 精華町の産後ケア事業が始まったとあるが、いつ開始して、利用数はどうか。

(事務局) 1月20日から開始し、実績は0。

(野沢委員) 5つの(せいか365健康づくり)プロジェクトが始まったとある。3月19日に活動報告会が実施されるそうだが、その内容は、5つが報告されるのか。

(事務局) 活動育成セミナーのチラシの内容です。一年前に1回目のセミナーを実施し、3月5日のプロジェクトの育成セミナーに50名ほどの住民の方に参加いただき、精華職員部会の部会員の職員も加わり、5つのグループができた。具体的な内容は「野菜のカフェレストラン」では、野菜を育てて、収穫し、収穫祭を2回ほど実施しています。「森の基地づくり」では、東畑の里山の土地を活用して、木工細工や料理などのイベントをされています。それぞれの成果を3月19日に発表します。今後どうやって活動を続けて行くかについても話し合っていたく予定です。

(東会長) この活動育成セミナーのチラシに、予算は0円と大きく書いてあるが本当か。

(事務局) この予算0円というのは、事業実施において、会で会費を集めたり、参加者から実費を集めたりは可能で、行政から活動費に対する運営費はお渡しできないということです。チラシの印刷などの側面的支援を行い。アイデアや資金繰りについては皆さんで考えていただいき元気になる取り組みを考えていただければということ。

(松浦委員) 野菜カフェレストランに私も関わらせていただいています。去年の12月21日に収穫祭をして、一般の方も参加いただき、畑で収穫して料理をしてみんなでおいしくいただきました。非常に良かった。しかし、予算が0ということは、とても厳しい。活動の運営資金の他に結構労力も必要。我々週に1回は畑に行っていた。ただ楽しいから行っていた。ここに書いてある通り、自分が元気になる、他者におすそ分けできる、自分たちでできることをやっという事で、よかったが、今後続けるには費用が出てくる。何らかの形で補助が出せるように町として考えていただければ、町でなかったら違うところで知恵を出していただいたら、他の団体にもよくて、今後未来永劫続いていくのではないか。事業自体は良いし、楽しい。続けていくために何らかの予算的なことも考えていただいたらということです。

(東会長) 医療と福祉には予算は沢山つくけれども、保健とか健康づくりとか食育というのには予算がなかなかつきにくいというのが現状です。予算をつけて財源を確保してしていくことが、長続きするコツかなと思います。

(森島委員) 老人クラブの副会長をしています。その中で、若手委員会ができています。元気な人が若手委員会だと思います。周りを見たら、80歳が若手らしいです。役をしているのがみんな80歳。老人会という名前が嫌なのでうちは長寿会という名前になっています。みんな元気でやっています。(ボランティアをしている先の)子どもたちのためにもまだまだもう少し頑張ろうと思っています。

(長谷川委員) せいか365のあすなろクッキングの人気度はどうか。

(事務局) あすなろクッキング今年度8回していただいた。図書館前への掲示や、広報で周知しています。満員御礼というのは1回だけ。なかなか人が集められないような状況。毎回、10名から20名くらいの方に、来ていただいています。来年度も回数は減りますが、継続予定で、あすなろ会の会長さんにはお願いしているところです。

(丹治代理委員) 山城南保健所の三沢所長の代理で、丹治といいます。冒頭に部長の挨拶に新型コロナウイルスのことで発言がありましたので、せっかくの機会ですので情報提供で資料をお持ちしましたので、周知させていただきます。

国のほうが出している「新型コロナウイルスを防ぐには」というリーフレットでホームページにも上がっています。飛沫感染や接触感染をする感染症で、インフルエンザとほぼ同等のウイルスといわれています。手洗いの徹底と咳エチケット、症状のある方はマスクの着用を啓発しています。風邪などの症状が長引いたりするときには無理をせずに休んでいただき、体温チェックをしてくださいと国からも周知しています。裏面のほうに、ご心配の場合、「帰国者・接触者相談センター」にご相談くださいと書いてあります。これは山城南保健所のことで、37.5℃以上の熱が四日以上続く、肺炎症状で、息苦しさや非常に強いだるさなどを感じた時にはご相談くださいということになっています。特に高齢者の方ですとか、基礎疾患、高血圧とか糖尿病とかがんの治療中とかそういった基礎疾患のある方は、重症化する恐れがあるため気を付けてくださいということになっています。これは健康づくりに通じるところで日ごろから生活習慣病を予防して基礎疾患を持たないようにしておくことで、いろんな感染症に強い体作りになります。

(東会長) 感染を拡大させないためにもみんなで頑張っていきたいと思います。

また、ご意見がございましたら自由な様式で事務局のほうにお寄せいただきたいと思います。

では、終了1分前になりましたので事務局にお返ししたいと思います。

(事務局) 本日の議事内容に関してご発言等いただけなかった内容に関しては任意の様式で結構ですので、事務局まで提出いただければ幸いです。

これを持って、第2回精華町町民健康づくり推進協議会を閉会します。

## 8. 閉会